

# 平成 30 年度第 2 回岡崎市水循環推進協議会 会議録

## 1 会議の日時

平成 31 年 2 月 4 日（月） 午前 9 時 30 分～午前 11 時

## 2 会議の場所

岡崎市役所東庁舎 2 階大会議室

## 3 議題

岡崎市水圏環境創造プランの改定について（水辺環境）

## 4 出席委員及び欠席委員の氏名（五十音順）

### (1) 出席委員

天野博、井上隆信、内山敬士、黄木勝敏、大島康司、皆瀬めぐみ、片岡喜幸、神本崇、蔵治光一郎、武田美恵、富永晃宏、眞木宏哉、丸山泰男、山口晴江

### (2) 欠席委員

長谷川明子、柏原美和子、谷地俊二

## 5 事務局職員の職氏名

環境部長 小早川稔、環境部次長（環境政策課長兼務） 手嶋俊明、環境政策課副課長 蜂須賀功、同環境施策係係長 倉田知彦、同主事 井上崇也

## 6 説明のために出席した職員の職氏名

乙川リバーフロント推進課副課長 浅井恒之、同企画調整係係長 鈴木亨一郎、環境保全課自然共生係主任主査 森本徳恵

## 7 開会

## 8 挨拶

### (1) 環境部長挨拶

### (2) 会長挨拶

## 9 議事録署名委員の指名

会長が議事録署名人として蔵治委員を指名した。

## 10 会議の公開

本日の会議を公開することとした。（傍聴者なし）

## 11 議事要旨

議事について、資料に基づき事務局及び担当課が説明し、その後次の趣旨の意見、質疑応答がなされた。

意見、質疑応答

天野委員：

マスタープランの一つに水辺空間の保全と創出とある中でアクションプランを見ると保全に関する施策しかなく、創出の面が出てきていない。

蔵治委員：

現在、緑化の推進については、水辺空間に位置付けられているが、はたして適切なのか。健全な水循環の確保に対して施策に期待される役割を考えていく必要がある。

事務局：

緑化の推進については、計画策定当初は、水量における施策に位置付けられていた。しかし、平成 25 年度の改定の際に、水辺空間の方へ重点施策が移された。御指摘の通り、水循環における緑が果たす役割を考え、どの区分に位置付けるべきか検討していきたい。

井上委員：

アクションプランにおける「子どもの水辺活動支援」が県事業ということで削除となっているが、岡崎市でも行われているのではないか。また、「乙川リバーフロント地区整備推進」で子どもが親しめる空間は整備されるのか。

リバーフロント推進課：

乙川河川緑地にあるひょうたん池の整備を行い、水辺で遊べる空間にする。

谷地委員：

「在来種復活作戦」における外来生物の例としてオオクチバス、ブルーギルとあるが、水辺環境の保全という観点からオオカナダモやオオキンケイギクなどの水辺の植物も駆除する必要があるため、対象に加えられたい。

事務局：

「在来魚復活作戦」から「在来種復活作戦」と変更したのは、魚だけでなく、カメや植物についても対象としていく意図がある。指摘のとおり、記載についてはそれらが対象となっていることが分かるよう修正したい。

15 その他

事務局から今年度における岡崎市水循環推進協議会は今回で最後となること、次年度第1回目の開催が8月頃になることを伝える。

16 閉会